

Appendix 3 観光地域調査シート

観光地域調査シート：アフワーズ

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Destination:	Ahwaz
	Code:	AW
	Sheet No.	1

(1) プログラム開発

小項目	評価設問	調査結果
観光資源	世界遺産	3件： ● チョーガ・ザンビル ● シューシュ ● シューシュタルの歴史的水利施設
	National Heritage	N/A
	無形遺産	N/A
	手工芸品	● キリムなど ● シューシュタルにはキャラバンサライを改修した工房兼手工芸品店がある。
	博物館・資料館（箇所）	シューシュ、ハフト・タベなど
	その他潜在資源	● 未開発の遺跡が何千ヶ所とあり、これらの開発は、本調査の目的であるイランの文化遺産観光の振興に資する。
観光インフラ	ホテル	
	数（格付別）	フーズスタン州合計：37軒 内、アフワーズ：8軒 （内訳：1☆：1軒、2☆：1軒、3☆：5軒、5☆：1軒）
	ベッド数	フーズスタン州合計：3,055床（内、アフワーズ：1,037床）
	従業員数	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	● シューシュの町には、4～5軒のレストラン。1軒のゲストハウス（ベッド数20）のみ。 ● シューシュタルには最近整備された歴史的建造物を改修したホテルが3軒（1軒は修復中）ある。 ● 主な宿泊客は、仏、独、シンガポール、韓国。 ● ホテル占有率：ハイシーズン：70%、ローシーズン40%
	レストラン	
	数（軒）	N/A
	座席	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	N/A
	旅行代理店	
	数（社）	N/A
	従業員数（人）	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	N/A
	インフォメーションセンター	
	数（箇所）	無し
	備考	—
その他		
	ツアーガイド数：フーズスタン州合計80人（アフワーズ：55人）	
観光商品	資源を活用したツアー・プログラム （既・未商品）	● シューシュタルでは、今年3月に新たな観光アクティビティとして川下りツアーを15日間試験的に行った。観光客の滞在時間を伸ばすという狙いもある。

	デスティネーションイメージ	<ul style="list-style-type: none"> メソポタミア文明からアケメネス朝時代に至る古代オリエント文明の関連遺跡（チョーガ・ザンビル）が複数点在している。
観光人材育成	関係省庁等による観光人材育成研修の実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティアガイド（通訳兼）は、10-14人が登録され、ライセンスを与えている。3時間×5日の15時間ほどの研修を受ける。最も多いのは英語通訳で、ドイツ語、フランス語、韓国語、日本語ガイドがいる。 シューシュの遺跡では無料ガイドだが、チューガ・ザンビルなど外部でのガイドは有料で行う。 チョーガ・ザンビルでは、周辺住民の参加にむけ、研修WSを行い、竹の皮を編んだ民芸品の開発を行っている。

(2) マーケティング

小項目	調査結果	
アクセス	人口（2016年）	
	フーゼスタン州：4,710,509人 （内、シューシュ市：8万人、シューシュタル市：10万人、チョーガ・ザンビル近傍の村3,000人）	
	観光地域までの公共交通手段	
	航空機	
	国際線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	国内線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 （運行便数、等）	<ul style="list-style-type: none"> テヘランから1～2便/日 クウェート、ジッダ、ドバイ
	主な都市からの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> テヘランから1.5時間
	備考 （サービス、品質、等）	—
	鉄道	
	乗り入れ	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 （運行便数、等）	<ul style="list-style-type: none"> テヘランから1～2便/日、シーラーズ
	主な都市からの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> テヘランから所要14～17時間
	備考 （サービス、品質、等）	—
	道路（路線バス等）	
	高速道路	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	主な都市からの所要時間	テヘランから所要10時間、シーラーズから所要10時間
備考 （道路状況、等）	<ul style="list-style-type: none"> 周辺を山岳地帯に囲まれていることから、陸路による他の観光地域間の移動に制限がある。 フーゼスタン州と他の地域を結ぶ幹線道路及び地方道路の状況は、共に必ずしも良好ではなく、移動に時間を要する。 	
安全性	<ul style="list-style-type: none"> フーゼスタン州のイラク国境地域は、外務省の「海外安全情報ホームページ」では、安全レベル「レベル3（渡航中止勧告）」に指定され「IS等のイスラム過激派の動向を注視する必要があり、治安情勢は予断を許さない状況にあります」とある。 	
需要	当該観光地	
	入り込み数（人）	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客：4,300人/年（2016年） 国内観光客：123,000人/年（2016年）
	セグメント・トレンド	フランス、ドイツ、スイス、日本

		周辺観光地
	入り込み数（人）	シューシュ： 2012-13年 80,000人（外国人 5,000人） 2013-14年 270,000人（外国人 10,000人） 2014-15年 160,000人（外国人 7,500人） 2015-16年 132,000人（外国人 30,000人）
	セグメント・トレンド	－
プロモーション	パンフレット、Webサイト、等	<ul style="list-style-type: none"> ● 州のアワードパンフレットによる民間のプロモーション活動が実施されている。 ● シューシュタルの NGO による演劇やまち歩きマップづくりの活動がある。 ● チョーガ・ザンビルでは、モバイル・アプリでの情報提供を半年以内に始める準備ができています。また、VR の活用にもむけた調査を始めている。
	概要	－

(3) ステークホルダーの関与

小項目	調査結果	
主導 Public initiative	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
	責任者	
	連絡先	
	職員数（人）	N/A
	予算	N/A
	備考	N/A
官民協働 Private partnership	地域の民間組織（業者組合、NPO、NGO、等）の有無、連携概要	<ul style="list-style-type: none"> ● シューシュタルには、地域の観光開発に従事する NGO が存在する他、シューシュには、観光ガイド協会など DMO を推進する際の官民連携の受け皿となる組織が存在する。また、ハフトタップでは住民参加型 WS などの取り組みがある。 ● 既に ICHTO 地方支局と現地 NGO 等の間で一定の協力関係が構築されている。
参加 Local Involvement	観光開発への住民参加レベル（高・低）	<ul style="list-style-type: none"> ● シューシュの住民を構成員とする NGO が遺跡ガイドや慧海遺産サイトでのイベント等を開催するなど、ボランティアや有償で ICHITO との協働による観光マネジメントを実践している。 ● シューシュ、チョーガ・ザンビルではシューシュの現地 NGO による遺跡ガイドツアーが催行されている。

(4) インパクト

小項目	評価設問	調査結果
経済的インパクト	正：雇用創出や民間投資、産業創出等につながっている	● 歴史的建造物を使ったホテルやキャラバンサライを用いた工房などの民間投資が行われている。
	負：地価高騰、人件費高騰、格差拡大等を生み出している	－
社会的インパクト	正：遺産保全、伝統産業再興、誇り醸成等につながっている	－
	負：遺産価値喪失、文化の見世物化等を生み出している	● シューシュ遺跡を訪れる観光客たちは、フランス調査隊の城のみに興味を示す（世界遺産構成要素）。4500年前の遺跡の魅力が上手く伝わっておらず、200年前に遺跡を破壊してつくられた城にばかり観光客の興味が集まるのはとても残念なことである。

(5) フィジビリティ

小項目		調査結果	
支援の必要性 Technical support	観光開発の発展段階	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産以外の未整備遺産をつなぐ、広域の Cultural Landscape としてのプログラム開発、都市や手工芸品のマーケティング支援が求められている。 	
	社会経済開発における地域間格差	所得水準	N/A
		貧困率 (%)	N/A
		失業率 (%)	12.7%
		GRDP (USD)	765,453 Billion Rial
備考	—		
支援効果と妥当性 Effectiveness & Appropriateness	上位計画・間連携各区との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 観光マスタープランの作成を予定しているが、その中のガバナンスや、必要インフラ、能力強化の WS、文化イベントについて、NGO や各団体の役割分担、プロモーション、マーケティング、海外事例の紹介などについての支援 世界遺産保護の規制としてシェーシュタルのバッファゾーンは、都市計画によってゾーンごとに異なる建築規制が行われている。カルン側北側の居住地区では、高さ 4.5m 制限。南側の商業地区では、建蔽率 40%、高さ 7.5m で 2 階建て以下の制限となっている。 	
	他ドナー支援との相乗効果と棲み分け	<ul style="list-style-type: none"> 過去に日本ユネスコ信託基金のチョーガ・ザンビル支援などがあり、連携可能性が高い。岡田保良先生（国士舘大学、考古学）、渡辺先生（土木）が中心となりチョーガ・ザンビル支援がこれまで行われてきた。 谷口純子氏（UNESCO テヘラン事務所）はイランの文化遺産を守るため、2003 年頃多くの WS を開催し、皆から愛されていた。 2000 年、2006 年に UNESCO による日干しレンガに関係するワークショップが行われた。この地域が、日干しレンガ修復のモデル地域で、定期的に世界中から関係者が集まる WS が行われている。 	

観光地域調査シート：エスファハーン

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Destination:	Esfahan
	Code:	ES
	Sheet No.	1

(1) プログラム開発

小項目	評価設問	調査結果
観光資源	世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> ● 5件（エマーム広場、フィン庭園（カーシャー）、アリカブ宮殿、金曜モスク、ペルシア式カナート、及び2件の無形遺産と合わせて7件はイランの州で最多） ● 2件が UNESCO の暫定遺産に登録（ナーイーン、アーブヤーネ村）
	National Heritage	1,800 件
	無形遺産	2 件（ポロゲーム、タール音楽）
	手工芸品	<ul style="list-style-type: none"> ● 2015 年には、World Craft City (WCC) に登録された ● 遊牧民のエリアにも多くの手工芸がある ● 国内 299、エスファハーン 196 の手工芸（世界では 602） ● エナメル細工、金属細工、象嵌細工、テキスタイル、ターコイズなどの石細工、装飾、銀細工、洋服、ワックス、絨毯、等 ● 4,000 人の職人がイランの 60%以上を生産（5,000 の工房） ● エスファハーン州の 24 郡それぞれに地元の材料を用いた異なるタイプの手工芸品がある。 ● ナーイーンは、質の高いペルシア絨毯の生産地として有名である。
	博物館・資料館（箇所）	公立 2、私立 50
	その他潜在資源	<ul style="list-style-type: none"> ● アーブヤーネ村だけでなく、ゲヒーム村など他にも多くの観光の村がある。 ● Ecotourism, 自然も観光資源。植生も豊かで冬には山岳でスキーなどの冬季スポーツも。Ecotourism は特に近年イラン国内で注目され、歴史だけでなく、自然も観光資源となっている。 ● バルザネ、ギャルメでは砂漠観光を楽しむことができる。
観光インフラ	ホテル	
	数（格付別）	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内で 75 軒のホテルがある。 ● 5 つ星が 2 つ、4 つ星が 5、その他は 3 つ星、2 つ星のホテルとなる。 ● 現在、80 軒のホテルが建設中であり、3 年以内に完成予定である。その内の 5 軒が 5 つ星のホテルとなる見込みである。 ● 州には 105 軒のホテルがある。 ● すべてを含めるとエスファハーン州には 400 軒の宿泊施設がある。 ● ハイシーズンの稼働率は、100%であり、ローシーズンは 50% である。
	ベッド数	約 25,000 床（州全体）
	従業員数	70,000 人
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 つ星、5 つ星のホテルの従業員は英語が話せる ● エスファハーン州には観光系の学部を持っている大学が 2 つある。City centre university と Naghashghan 大学がある。 ● 4 つ星、5 つ星のスタッフは主にこの 2 つの大学から採用する。 ● ローシーズンは宿泊料金が割引される。
	レストラン	
数（軒）	● 主に 2 つのタイプのレストランがある。ICHTO の管轄下で、	

		<p>伝統的なレストランが 25 軒ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通のレストランは数多く営業している。 ● その他にもクラシックレストランがある。
	座席	N/A
	備考 (サービス、品質、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統的なホテルでは、約 300 人が働いている。
旅行代理店		
	数 (社)	<ul style="list-style-type: none"> ● 300 店が営業している。 ● その内 20 点がインバウンド専門であり、残りがアウトバウンドを専門としている。
	従業員数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> ● 3,000 人が働いている。
	備考 (サービス、品質、等)	—
インフォメーションセンター		
	数 (箇所)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内に 10~15 程度のインフォメーションセンターがある。
	備考	—
ガイド		
	数	<ul style="list-style-type: none"> ● 州全体では 900 名のガイドがいる。 ● 市では 675 名のガイドがいる。その内、75%以上が積極的に活動している。 ● 語学は 60%以上が英語。50%がフランス語、50%がドイツ語、イタリア語、スペイン語は少数のガイドが話すことができる。中国語、日本語のガイドは極めて少ない。
	備考	<ul style="list-style-type: none"> ● エスファハーンは観光客の数が多いため、ガイドの質がイランの中でも高い。ランク分けをするとしたら、200 名が A、400 名が B、後は C ランク (25%のあまり活動的でないガイド) と分類できる。 ● ガイドは文化、エコツーリズムの 2 種類のガイドがある。
その他		
		—
観光商品	資源を活用したツアー・プログラム (既・未商品)	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界遺産、国内遺産などを含めて 2,200 のアトラクションがある。遊牧民、手工芸品、1,580 が国内遺産として登録されている。インフラの未整備でアクセスできない場所もある。 ● 体験型のワークショップは 200 件ある。
	destination イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ● エスファハーンは、サファヴィー朝の第三の首都であり、アナトリア高原を結ぶ陸のシルクロードと海のシルクロードが交差するシルクロードの要衝に位置する。 ● シルクロードの交易品を扱うパーザールが軒を連ねる UNESCO 世界遺産のエマーム広場は、ペルセポリスと並ぶイラン観光の二大アイコンであり、イランで最も多くの観光客を集める世界的な観光地となっている。 ● マスジェデ・エマームなどサファヴィー朝を始めとした歴史と伝統を感じる destination イメージが形成されている。
観光人材育成	関係省庁等による観光人材育成研修の実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> ● ICHTO によるツアーガイド、ホテル、旅行会社むけのトレーニングがある。手工芸職人トレーニングもある。品質向上やマーケティング、プロモーションなど 72 時間の課程。初級用と専門家用がある。講師は大学や、熟練職人に委託する。 ● タクシードライバー、レストランからの要望を受け、ICHTO による民間業者向け WS を、全ての民間セクターに広げる予定。 ● 観光の大学があり、学生が民間の人々のために WS を開催 ● 専門学校 7、大学 1 (ナクシュジョハン大学) 300 人の学生が学び、毎年 70 人が卒業 (10 年前に設立)

		<ul style="list-style-type: none"> ● 民間セクターの中でも地元住民のためのトレーニングがある（簡単な英会話など） ● ナーイーンでは、これまでに 1,500 人が ICHTO による手工芸研修（絨毯、キリム、等）を受講している。
--	--	--

(2) マーケティング

小項目	調査結果	
	人口（2016 年）	
	エスファハーン州：5,120,850 人（内、エファハーン市：約 200 万人）	
	観光地域までの公共交通手段	
	航空機	
	国際線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 （運行便数、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイシーズンは年に 2 回（4 月、8 月～9 月）ある。インパウンドのハイシーズンは 3 月、9 月となる。 ● ローシーズンは上記以外の期間である。 ● 定期便として、トルコ、イラク、オーストラリア、UAE との定期便がある。 ハイシーズンでは、上記の路線に加えて、ジョージア、ロシア、トルコ（複数の都市）、マレーシアの路線が就航する。
	国内線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 （運行便数、等）	● キシュ島は 47 便／週、テヘラン 28 便／週、マシュハド 40 便／週、タブリーズ 20 便／週、ゲシュム島 2 便／週、の定期便がある。
	主な都市からの 所要時間	—
	備考 （サービス、品質、等）	—
	鉄道	
	乗り入れ	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 （運行便数、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● テヘラン、タブリーズ、マシュハドなどへの定期便がある。 ● 海外の都市との定期便は全てテヘラン経由でトルクメニスタン、トルコ、バクーなどの都市とつながっている。
	主な都市からの 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ● テヘランから所要 6 時間 ● エスファハーンテヘラン間を 1 時間 40 分でつなぐ高速鉄道を計画中
	備考 （サービス、品質、等）	—
	道路（路線バス等）	
	高速道路	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	主な都市からの 所要時間	● イランの中央に位置し、テヘラン、シーラーズ、カーシャーン、タブリーズなど東西南北の主要都市とつながっている。
	備考 （道路状況、等）	● 主要観光地間の幹線道路の整備状況は良好。
安全性	● 外務省の安全情報では、エスファハーン州はレベル 1「十分注意してください」と定義されている。	
	当該観光地	
需要	入り込み数（人）	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外旅行客数は 350,000 人／年。増加傾向にある。 ● 国内旅行客数は 280 万人／年。全国の様々な都市から来ている。
	セグメント・トレンド	● 海外旅行客数を国別の内訳は、ドイツ、フランス、アメリカ、イタリア、イラク、中国、スペイン、スイス、レバノン、トルコ、オランダ、オーストリア、イギリス、ベルギー、オー

		<p>ストラリアとなっている。大体がグループツアーである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エスファハーンは国内の人気第 1 位のハネムーン旅行先である。 ● 一般的な宿泊数は 3 泊程度である。
	周辺観光地	
	入り込み数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> ● ナーイーンには、2016 年に 30,000 人が訪問。 ● エスファハーン近隣の観光地としては、カーシャーン、アーブヤーネ村、オアシス都市、ナーイーンなどである。 ● カーシャーン、ナーイーンはエスファハーンに宿泊し、日帰りで行くことが多い。 ● オアシス都市はエスファハーンから離れているため、そこで宿泊することとなる。
	セグメント・トレンド	—
プロモーション	パンフレット、Web サイト、等	<ul style="list-style-type: none"> ● パンフレット、ウェブサイト、SNS ともに充実している。 ● ICHTO が運営するオフィシャルサイトの他に、民間事業者が運営している観光ウェブサイトもある。 ● SNS は Telegram、What's up などを活用している。 ● ナーイーンは、キシユ島で開催される International Tourism Exhibition に出展。Web は、www.naeincht.ir があり、観光情報が網羅されている。
	概要	—

(3) ステークホルダーの関与

小項目	調査結果	
主導 Public initiative	ICHTO 地方支局の有無	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
		責任者
		連絡先
	職員数 (人)	500 人
	予算	N/A
	備考	<p>4 部局 :</p> <p>(1) Tourism 部</p> <p>(2) Cultural Heritage 部</p> <p>(3) Investment & Planning 部</p> <p>Handicraft 部</p>
官民協働 Private partnership	地域の民間組織 (業者組合、NPO、NGO、等) の有無、連携概要	<ul style="list-style-type: none"> ● Tourist Association では、毎週 ICHTO との会議がある。それぞれの分野で、同様に毎週の会議が行われている。 ● エスファハーン市では 20 民間団体 + 5 行政団体による観光振興に関わる協議会を毎月開催。 ● 全ての民間セクターの分野を含んだ協議会も別にあり、観光分野についての協議を行う ● 観光関係 NGO の数は、エスファハーン州全体で 50-60 組織程度
参加 Local Involvement	観光開発への住民参加レベル (高・低)	<ul style="list-style-type: none"> ● ナーイーンでは、市民の代表者を交えた月 1 回の 8~10 名による観光開発に関わる協議会が開催される。10 年来の住民連携の取り組みがあり、州の最高市長の賞も受賞した。また、住民参加が評価され、イラン国内の都市発展優良都市の第 1 位に選ばれた。(国交省の取り組み) さらに、市民を交えた戦略会議が月 1 回は開催される。

(4) インパクト

小項目	評価設問	調査結果
経済的インパクト	正 : 雇用創出や民間投資、産業創出等につながっている	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテル、レストラン、旅行代理店などの旅行業が、多くの雇用を創出し、地域振興につながっている。

	負： 地価高騰、人件費高騰、格差拡大等	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光開発に伴う負のインパクトはほとんどない。 ● 特定の観光地と観光客の軋轢もあまりないようである。
社会的インパクト	正： 遺産保全、伝統産業再興、誇り醸成等につながっている	<ul style="list-style-type: none"> ● ナーイーンでは、10年来、住民参加を通じて、観光の意義が住民にも理解されるようになった。住民の誇り醸成にも寄与している。
	負： 遺産価値喪失、文化の見世物化等を生み出している	<ul style="list-style-type: none"> ● アーブヤーネ村の住民の多くが土産物屋となり、地域の伝統的な生活様式や文化が失われつつある。

(5) フィジビリティ

小項目	調査結果		
支援の必要性 Technical support	観光開発の発展段階	<ul style="list-style-type: none"> ● エスファハーン市中心部は、イランで最も多くの観光客を集める世界的な観光地となっている。 ● 他方、ナーイーン、カーシャーン、アーブヤーネ村などエスファハーンの周辺地域は、UNESCOの暫定遺産リストに登録されているものの、観光開発が十分に進んでいない。これらの地域は、観光開発によりエスファハーンからの観光客を誘導することにより、短期的に効果が発現する高いポテンシャルを有しており、支援のニーズが高い。 ● また、エスファハーン周辺には、バルザネ砂漠など豊かな自然資源を背景とした伝統的民宿（ブームギャルディー）などがあり、これらのプロモーションにより、地域に裨益する支援が可能。 	
	社会経済開発における地域間格差	所得水準	N/A
		貧困率 (%)	N/A
		失業率 (%)	14.6%
		GRDP (USD)	514,973 Billion Rial
備考	—		
支援効果と妥当性 Effectiveness & Appropriateness	上位計画・関連携各区との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後5年間で宿泊を4倍にする計画がある。 ● 2007に Cultural Capital of Tourism Worldの対象都市だった。 ● International Comity of Handicraft 2016 ● Tour guides International Gathering 2016 	
	他ドナー支援との相乗効果と棲み分け	<ul style="list-style-type: none"> ● ナーイーンでは、イランの道路・計画省とフランス観光省の協力の枠組みの下、50名の歴史的建造物保全分野の専門家の派遣が行われている。 	

観光地域調査シート：シーラーズ

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Destination:	Shiraz
	Code:	SZ
	Sheet No.	1

(1) プログラム開発

小項目	評価設問	調査結果
観光資源	世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> ● 4件（ペルセポリス、パサルガダエ、ペルシア式庭園（エラム庭園、パサルガダエ）） ● ICHTO は 2018 年のビシャプール（UNESCO の暫定遺産に登録）とタンゲチヨーガンの世界遺産登録に向けた活動を展開中。 ● ICHTO では他にサルベスタン及びフィルサバッドのサーサーン朝時代の宮殿跡の整備を進めている、
	National Heritage	3,000 件
	無形遺産	<ul style="list-style-type: none"> ● ギャッベ（毛織物絨毯）が UNESCO の世界無形文化遺産に登録されている。
	手工芸品	<ul style="list-style-type: none"> ● インレイ（象嵌細工）、ギャッベ、絨毯、等 ● ファルス州全体で 2,000 人の手工芸職人（地域に多い）が活動。 ● ICHTO では、地域に仕事をつくるために、地域での WS を増やしたり、地方の商品を都市のバーザールで売れるようにしたりする。
	博物館・資料館（箇所）	15 施設（全てシーラーズ市内）
	その他潜在資源	<ul style="list-style-type: none"> ● 人類史初期の集落 ● エラム期、アケメネス期、サーサーン期の遺跡、30 / 35 のレリーフがファルス州にある。 ● シーラーズ市内にはイスラム期以降の遺跡も多く、360ha 以上のガジャール朝時代の歴史的建造物が残る歴史地区がある。 ● 宗教的な遺跡も 1,400 ある ● ファルス州は豊かな自然に恵まれエコツーリズムが盛んである。 ● メディカルツーリズムに関しても、シーラーズの先進医療施設があり、優れた医者がある。 ● エコミュージアムが 1ヶ所あるものの、語源となっているフランス国内における活動とは定義が大きく異なり、生態系全体を含む自然公園を指す。
観光インフラ	ホテル	
	数（格付別）	<ul style="list-style-type: none"> ● 州内に 200 軒の宿泊施設がある。19 軒のホテルが建設中である。 ● 5つ星が 6 件、4つ星が 18 軒、残りが 1~3 つ星である。 ● 138 軒のゲストハウスがあり、そのうち 10%以上が個人旅行者向けである。 ● シーラーズ市には 120 軒あり 1つ星レベルのホテルであるが施設は良く、2~10 ドルで宿泊できる。 ● ゲストハウスの年間平均稼働率は 60%~70%である。 ● 34 軒の伝統的民宿（ブームギアルディー）がある。現在、100 軒を新たに建設中。全て地方に整備予定。
	ベッド数	ベッド数は 18,000 床。
	従業員数	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本人はバスタブを好むため、現在、バスタブ付きのホテルを整備するなど、市場の要望に沿うよう、マーケティングを行なっている。

	レストラン	
	数（軒）	N/A
	座席	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	—
	旅行代理店	
	数（社）	<ul style="list-style-type: none"> ● シーラーズ市には 80 軒の旅行代理店がある。15 軒がインバウンド専門に業務を行っている。 ● 州全体では 185 軒の旅行代理店がある。
	従業員数（人）	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイトは 7 か国語で対応。
	インフォメーションセンター	
	数（箇所）	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 つあり、1 つはシーラーズ市内、もう一つは空港内にある。 ● 民間との協力の下で、ICHTO 監理の下、運営している。
	備考	—
	ガイド	
	数	<ul style="list-style-type: none"> ● ファルス州全体で 1,200 人の公認ガイドがいる。 ● 日本語ガイドも 8 人おり、うち 2 人はネイティブである。
備考	—	
観光商品	資源を活用したツアー・プログラム （既・未商品）	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統的民宿（ブームギャルディー）体験（地域の伝統的な食事や生活様式を体験できる宿泊施設） ● メディカルツーリズム ● エコツーリズム
	デスティネーションイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ● ペルセポリスをはじめ、アケメネス朝の首都であったパサルガダエ、王墓であったナグシェ・ロスタムなどがあり古代オリエント遺跡が残る。 ● シーラーズは、ペルシア湾岸のホルムズ及びシラフからエスファハーンに至る海のシルクロード上に位置し、ザンド朝やガジャール朝時代の歴史的建造物など、多様な時代と文化の交流を示す観光資源が多数ある。 ● 海のシルクロードのブランドイメージの発掘に向けた活動
観光人材育成	関係省庁等による観光人材育成研修の実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> ● ICHTO による手工芸職人向けの WS やヘリテージ、エコツーリズムのトレーニングが行われている。 ● 外国語ツアーリストガイドの数、トレーニングが不足しており、ICHTO では、ローカルガイドのトレーニングも行っている。

(2) マーケティング

小項目	調査結果	
アクセス	人口（2016 年）	
	ファルス州：4,851,274 人	
	観光地域までの公共交通手段	
	航空機	
	国際線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	国内線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	直行便 （運行便数、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● 州内にシーラーズ空港、ラール空港、ラーメルド空港の 3 つの空港がある。 ● 定期便は UAE（2 都市）、カタール、トルコ、オーストリア、イラク、オマーンの 7 都市の間で直行便が就航している。
主な都市からの 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ● テヘランから所要 1 時間 30 分。 	

	備考 (サービス、品質、等)	—
	鉄道	
	乗り入れ	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 (運行便数、等)	N/A
	主な都市からの 所要時間	N/A
	備考 (サービス、品質、等)	N/A
	道路 (路線バス等)	
	高速道路	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	主な都市からの 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ● エスファハーンから所要約 5 時間 ● ヤズドから所要約 5 時間 ● アフワーズから所要 10 時間
	備考 (道路状況、等)	—
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ● 外務省の安全情報では、ファルス州はレベル 1「十分注意してください」と定義されている。 	
需要	当該観光地	
	入り込み数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2017 年はこれまでに 330,000 人の外国人観光客が訪問。前年比 22%増の伸びである。 ● 2016 年の国内外からの観光客数は、500 万人。うち 450 万人が国内の観光客。
	セグメント・ トレンド	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域別では、ヨーロッパ、アジア、中国、日本からの旅行者が多い。 ● 2016 年の日本人観光客数は、3,300 人 ● ヨーロッパからはドイツ、フランス、イタリア、オランダ、オーストリア、ノルウェーからの観光客が多い。 ● アジアは中国、台湾、日本、韓国から訪問している。
	周辺観光地	
	入り込み数 (人)	● 平均宿泊数は 3 泊である。
	セグメント・ トレンド	● 90%が文化遺産観光。
プロモーション	パンフレット、Web サイト、等	● プロモーションツールとして、パンフレット、ウェブサイト、SNS、プロモーションビデオ等がある。
	概要	N/A

(3) ステークホルダーの関与

小項目	調査結果	
主導 Public initiative	ICHTO 地方支局の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
		責任者
		連絡先
	職員数 (人)	ファルス州：250 人 シーラーズ市：180 (ペルセポリスとパサルガダエで 50 人) Research Center：4 ヶ所 (ペルセポリス 50 人、パサルガダエ 12 人)
	予算	N/A
	備考	—
官民協働 Private	地域の民間組織 (業者 組合、NPO、NGO、	<ul style="list-style-type: none"> ● Tourism Committee を州で組織している。Government の下、ICHTO、Municipality、民間団体によって構成される。

partnership	等)の有無、連携概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 2週間後に観光展示会を開催するが、ヤズド、エスファハーン、ファルス州のゴールデンルートがあるため、ファルス州に関係者が一堂に会する。
参加 Local Involvement	観光開発への住民参加レベル(高・低)	<ul style="list-style-type: none"> ● 既に観光について住民の理解があるため、地域住民の意識啓発のWS等をICHTOが実施した実績はない。

(4) インパクト

小項目	評価設問	調査結果
経済的インパクト	正: 雇用創出や民間投資、産業創出等につながっている	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテル、レストラン、旅行代理店などの旅行業が、多くの雇用を創出し、地域振興につながっている。
	負: 地価高騰、人件費高騰、格差拡大等を生み出している	—
社会的インパクト	正: 遺産保全、伝統産業再興、誇り醸成等につながっている	<ul style="list-style-type: none"> ● 2000人の職人(地域に多い)。地域に仕事をつくるために、地域でのWSを増やしたり、地方の商品を都市のバーザールで売れるようにしたりする。 ● 地域の持続的観光のために、ブームギャルディー34から100に増やす。いずれも雇用促進が目的。
	負: 遺産価値喪失、文化の見世物化等を生み出している	—

(5) フィジビリティ

小項目	調査結果		
支援の必要性 Technical support	観光開発の発展段階	<ul style="list-style-type: none"> ● シーラーズから日帰り圏内にあるUNESCO世界遺産のパスルガダエとペルセポリスは、イランで最も多くの観光客を集める世界的な観光地となっている。 	
	社会経済開発における地域間格差	所得水準	N/A
		貧困率(%)	N/A
		失業率(%)	11.4%
		GRDP(USD)	351,170 Billion Rial
備考	—		
支援効果と妥当性 Effectiveness & Appropriateness	上位計画・間連携各区との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ● ファルス州の観光開発マスタープラン(2017-2022)あり。 ● ICHTOとしても、3つのサルベスタン(サーサーン朝宮殿)、カゼルーン(ビシャプール)、フィルザバットの3つを世界遺産に登録して、ペルセポリスとは違う地域に観光客を誘致し、地域の観光を発展させる計画がある。 	
	他ドナー支援との相乗効果と棲み分け	<ul style="list-style-type: none"> ● アルセンジャン、マルブダシュトで、日本の考古学者との交流が40年前までと4年来ある。 ● ペルセポリスは16年前から世界中の国が発掘保存を協力。現在はイタリアチームと連携している。 	

観光地域調査シート：タブリーズ

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Destination:	Tabriz
	Code:	TB
	Sheet No.	1

(1) プログラム開発

小項目	評価設問	調査結果
観光資源	世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> ● 3件（アルメニア使途教会の修道院郡、タブリーズのパーザール、ブルーモスク） ● UNESCO 世界遺産に登録されたアルメニア使途教会の修道院郡の5件のうち2件が東アゼルバイジャン州。St. Stepanos 教会が最も人気 ● 北東にあるアレスバラン森林を自然遺産として申請予定。 ● キャンドヴァーン村は UNESCO 世界遺産の暫定リストに登録されている。
	National Heritage	1,790 件（登録文化財総数：1,800 件）
	無形遺産	<ul style="list-style-type: none"> ● 約 1,700 件。 WCC (World Council Craft) で、Tabriz は絨毯の町として登録されている。
	手工芸品	<ul style="list-style-type: none"> ● 絨毯、銀細工、陶器、革製品、Batik, Varni
	博物館・資料館（箇所）	公立・私立の合計 25 箇所
	その他潜在資源	<ul style="list-style-type: none"> ● 宗教やセレモニー、アザリ音楽、陶器の無形文化財、山岳資源、ヘルスツーリズム、等
観光インフラ	ホテル	
	数（格付別）	<ul style="list-style-type: none"> ● 5つ星ホテルが3軒、4つ星ホテルが4軒、3つ星ホテルが3軒、2つ星ホテルが15軒、1つ星が7軒ある。 ● その他にはホテルアパートメントが25軒あり、キャンドヴァーンには洞窟住居を改装したホテルが1軒ある。
	ベッド数	ベッド数は8,500である。
	従業員数	4,500人が直接雇用されている。
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテルの格付けは ICHTO が定めた基準のもとに、ホテル協会が厳しく審査している。スターごとに A, B, C のランクがある。 ● 外資のホテル業への投資を奨励している。今、建設をすれば5年間は税金免除となる。2018年のタブリーズのイベントにかけての特別措置である。 ● ハイシーズンは海外・国内客ともに夏である。 ● 稼働率の平均は40%であるが、ハイシーズンは100%、オフシーズンは20%となっている。 ● ICHTOにより3ヶ月ごとにホテルのインスペクションが行われており、格付けの基準を満たさないことが判明した場合は、Warning→Suspention→Closingの順に指導が行われる。
	レストラン	
	数（軒）	<ul style="list-style-type: none"> ● タブリーズには420軒のレストランがあり、東アゼルバイジャン州全体では、780軒ある。 ● Food Industry Association of East Azerbaijan に登録しているレストランは260軒である。
	座席	120,000 席
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> ● Food industry association of East Azerbaijan に登録されている260軒の内、20%が最上級レベル、40%が第1次レベル、30%が第2次レベル、残りの10%が第3次レベルに分類されている。 ● 100席ごとに車椅子1台、子供用の椅子10脚を設置すること

		<p>になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タブリーズにはハンマームや氷室を改装したレストランがある。
	旅行代理店	
数（社）		<ul style="list-style-type: none"> ● 東アゼルバイジャン州全体で 225 社あり、その内、147 社がタブリーズで運営されている。 ● インバウンドのツアーオペレーターは、10 社ある。
従業員数（人）		<ul style="list-style-type: none"> ● 東アゼルバイジャン州全体で 1,500 人
備考 （サービス、品質、等）		<ul style="list-style-type: none"> ● タブリーズの旅行代理店協会では、基本ルールを守るよう旅行会社を指導している。
	インフォメーションセンター	
数（箇所）		<ul style="list-style-type: none"> ● ICHTO による管轄の下、タブリーズには 23 の TIC がある。空港、駅などには 4 つの常駐オフィスがある。15 か所はハイシーズンのみの仮設の TIC があり、市内には 4 つある。 ● 民間からはツアーガイド協会が ICHTO を支援している。
備考		<ul style="list-style-type: none"> ● バーザール内のインフォメーションセンターには 8 か国語を話せるガイドが常駐しており、地図や観光情報を提供している。
	その他	
		<ul style="list-style-type: none"> ● キャンドヴァーン村では、旅行者から入村料（車 1 台につき 100,000 Rials）を徴収し、観光地開発の財源の一部に充てている。
観光商品	資源を活用したツアー・プログラム （既・未商品）	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源を活用したツアーとしては文化、遺産、山登りの 3 つのツアーがメインである。 ● その他にはスキーリゾート、遊牧民の生活体験ツアー、ヤズドのような宗教ツアー、絨毯織の体験などがある。 ● アゼル音楽、文学などの無形文化を対象としたツアーもある。 ● 医療体制も整っているため、隣国からのヘルスツーリズムのポテンシャルもある。 ● 市内のツアーもある。今はタブリーズ市が行っているが、数か月後に、民間に委託されることが予定されている。 ● タブリーズのツアーとしては、バーザール、ブルーモスク、半日ツアーのキャンドヴァーン村、聖ステファノ教会などが主要なツアーである。 ● 手工芸業は 90 程度の工房があり、約 10,000 人が従事している。
	デスティネーションイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ● タブリーズは、紀元前からヨーロッパとアナトリア高原、アジアを繋ぐシルクロードの商業都市として発展。 ● ヨーロッパとアジアからシルクロード貿易の商品の市場となった世界最大の建築面積を誇るタブリーズのバーザールは、UNESCO 世界遺産に登録されている。 ● タブリーズは、15 世紀のサファヴィー朝最初の首都となった他、市内にはイルハーン朝のブルーモスク（UNESCO 世界遺産）や、周辺のシルクロードの街道沿いには歴史的な橋梁、キャラバンサライ、アルメニア使途教会の修道院など、シルクロードを介した多様な文化の交流を示す観光資源が多数点在する。 ● 現在も、タブリーズからトルコ、及びアルメニア、アゼルバイジャンを結ぶ幹線道路を介した盛んな国境貿易が行われている。 ● また、アナトリア高原で産出されるカーペットは、シルクロード貿易の主要産品としてタブリーズの歴史と深く結びついている。 ● 遺産、タブリーズの伝統と文化もデスティネーションイメージとして認識されている。

観光人材育成	関係省庁等による観光人材育成研修の実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> ● ICHTOによる Technical Management、Tour Leadership、Ecotourism、Hotel Management. に関するトレーニングがある。OJT (On the Job Training) が主。講師は外部の大学教員に外注。Tabriz University に Tourism 学部がある。料理も大学にコースがある。 ● 観光人材に関わる教育機関は、1つの大学、5つの専門学校がある。
--------	------------------------	--

(2) マーケティング

小項目	調査結果	
	人口 (2016 年)	
	東アゼルバイジャン州 : 3,909,652 人 (内、タブリーズ市 : 190 万人)	
	観光地域までの公共交通手段	
	航空機	
	国際線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	直行便 (運行便数、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● イスタンブール、ハンブルグとの定期路線が就航している。 ● パクー、ドバイ、トビリシ、モスクワは季節就航の便がある。
	国内線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便 (運行便数、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● テヘラン、シーラーズなどは定期便が就航している。
	主な都市からの 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ● タブリーズ-テヘラン間は約 1 時間。
	備考 (サービス、品質、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 概ね機体は古い。
	鉄道	
	乗り入れ	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
アクセス	定期便 (運行便数、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の東西をつなぐメトロが運航している。 ● モスクワとの路線が準備中である。 ● ジョージア、イラク、アゼルバイジャンとの定期便が運行する。 ● 国内はタブリーズ-マシュハドは 1 日 2 便 ● タブリーズ-テヘランは 1 日 2 便
	主な都市からの 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ● テヘランから所要 13 時間 ● マシュハドから所要 25 時間
	備考 (サービス、品質、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅の施設としてはインフォメーションセンター、待合用の座席、売店、トイレなど一通りそろっている。ただし、ペルシア語表記がほとんどであり、チケットの買い方も外国人旅行者にはわかりづらい。
	道路 (路線バス等)	
	高速道路	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	主な都市からの 所要時間	テヘランから所要 8 時間
	備考 (道路状況、等)	主要都市をつなぐ幹線道路 (4-6 車線) の状況は良好。タフテソレイマン周辺の地方道路は劣化が著しく改修を要する。
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ● 外務省の安全情報では、西アゼルバイジャン州はレベル 1「十分注意してください」と定義されている。 	
	当該観光地	
需要	入り込み数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人旅行者は 45 万人。国内旅行者は 400 万人。 ● 4 月~9 月がハイシーズンであり、その他の月はローシーズンとなる。
	セグメント・	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人旅行者はドイツ、フランス、スウェーデンを始めとしたヨーロッパからがほとんどである。アラブ諸国やアジアが

	トレンド	<p>らの旅行者は少数である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人旅行者はグループツアー、個人旅行のいずれのケースでも訪問している。 ● 観光客は増加傾向にある。2年前と比べて23%増加している。理由としては、タブリーズが2018年にOIC (Organization of Islamic Countries) のTourism capitalに選定され注目されていること、及び経済制裁が一部解除されたためである。 ● タブリーズは21の郡に分かれ、それらをつなぐ5つの代表的なツアールートがある。いずれもタブリーズを起点として、地方都市を周遊するツアーである。 ● 国内観光客はマシュハド、シーラーズ、テヘランといった地域から訪れる。特にタブリーズの夏は涼しいために、南部の暑い地域から避暑のために訪れることが多い。
	周辺観光地	
	入り込み数(人)	キャンドヴァーン村：約10万人/年
	セグメント・トレンド	<p>タブリーズと周辺地域の代表的な観光ルートは次の5通りである。いずれのルートにもタブリーズが組み込まれている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Tabriz-Kaleybar 2. Tabriz-Marand-Jolfa-Aras River 3. Tabriz-Maragheh 4. Tabriz-Bostanabd-Sarab 5. Tabriz-Mianeh
プロモーション	パンフレット、Webサイト、等	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光用のウェブサイトがある。ウェブサイトはペルシア語、英語、フランス語、ドイツ語、トルコ語が準備されている。SNSではテレグラムを活用して、情報を発信している。 ● 広報用のビデオクリップがある。 ● 観光客用の地図も豊富に準備されている。 ● Tabriz 2018に向けたTabriz Reporterという観光情報を網羅したブックレットがある。ブックレットはドイツ語、トルコ語、アゼルバイジャン語、ロシア語が準備されている。
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客用のブックレット、地図、観光案内等は英語でも用意されており、観光情報が十分にまとめられている。

(3) ステークホルダーの関与

小項目	調査結果	
主導 Public initiative	ICHTO 地方支局の有無	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
		責任者 Mr. Mortaza Abdar (Director-General of ICHTO 東アゼルバイジャン州)
		連絡先 0914 415 8447 mortaza.abdar@yahoo.com
	全職員数(人)	250人(東アゼルバイジャン州21郡のICHTO支局含む)
	予算	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建造物の保存や活用に関しては、プロジェクトごとにICHTO本部に申請 ● BOT契約(20年程度)の下、民間資金の活用によりキャラバンサライ等の歴史的建造物をホテルやレストランに改修している。
備考	4 部局 : (4) Tourism 部 1) Marketing & Promotion 課 2) Education 課 3) Supervision 課 (5) Cultural Heritage 部 1) Archaeology 課 2) Technical Management and Renovation 課 (職員 30 人) 3) Museum management 課 4) Registration of cultural heritage 課	

		<p>(6) Investment & Planning 部 Planning 課 Budget planning 課 Development Planning 課</p> <p>(7) Handicraft 部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Training of Handicraft 課 2) Development of Implementation and Marketing 課 3) Business Support 課 <ul style="list-style-type: none"> ● Supervision 課によるホテルのインスペクションは毎月、3ヶ月、クレーム時に検査を実施 ● 歴史的建造物の改修工事は外部の建設業者に外注。 ● 監理業務は、大学教員やコンサルタントに外注し、10%程度を ICHTO が直営で実施。 ● タブリーズ市内の 180 件の建物が、歴史的建造物に登録され、128 件が、National Heritage に登録されている。 ● 民間所有の登録歴史的建造物の保存・修復工事については、ICHTO に確認申請が必要。一定の条件の下、伝統的な建築材料を使用する場合、材料を ICHTO が提供するなどの補助制度がある。
官民協働 Private partnership	地域の民間組織（業者組合、NPO、NGO、等）の有無、連携概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 635 団体の NGO が存在（手工芸、環境、文化財保護、ホテル業、等）。 ● 歴史的建造物の保存・修復方法に関して ICHTO に反対する NGO もある。 ● タブリーズのバーザール内にも 2 つの NGO が活動
参加 Local Involvement	観光開発への住民参加レベル（高・低）	<ul style="list-style-type: none"> ● キヤンドヴァーン村の地元 NGO（住民）を対象とする CRM（Customer Relation Management）や環境に関するトレーニングを毎月実施。 ● キヤンドヴァーン村では、観光と住民生活の共存を目指している。（C.f. カップパドキアのような観光と生活の分離ではない、Living Heritage） ● その他では、Ushtubin 村でも同様の取り組みがある。 ● ICHTO では、女性や若者を対象とした、Handicraft に関する WS がある。その他、Municipality や NGO による WS もある。 ● Omid 財団のサポートの事例もある。

(4) インパクト

小項目	評価設問	調査結果
経済的インパクト	正： 雇用創出や民間投資、産業創出等につながっている	<ul style="list-style-type: none"> ● ホテル業では 4500 人、旅行代理店業では 1500 人、レストランも 780 軒あり、観光業が多くの雇用・産業創出に貢献している。 ● タブリーズの ICHTO は経済的インパクトより社会的インパクトに焦点を当てたい。観光を通じてイランのイメージ、タブリーズのイメージを変えたいという意図がある。
	負： 地価高騰、人件費高騰、格差拡大等	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客を受け入れるコミュニティと観光客の軋轢を緩和する施策がある。 ● ICHTO によるキヤンドヴァーン村の住民を対象にした観光客の受け入れ及び観光開発に関わる啓発活動として、月 1 回のカスタマーリレーションマネージメント（CRM）の研修を行っている。
社会的インパクト	正： 遺産保全、伝統産業再興、誇り醸成等につながっている	<ul style="list-style-type: none"> ● Tabriz 2018 が観光振興の大きなきっかけとなり、パンフレットなどの整備も進んでいる。
	負： 遺産価値喪失、文化の見世物化等を生み出している	<ul style="list-style-type: none"> ● キヤンドヴァーン村における現代的な住宅の建設が歴史的景観保全の脅威になっている。 ● キヤンドヴァーン村の洞窟住居の多くが土産物屋となり、地域の伝統的な生活様式や文化が失われつつある。

(5) フィジビリティ

小項目	調査結果		
支援の必要性 Technical support	観光開発の発展段階	<ul style="list-style-type: none"> ● タブリーズは、シルクロード交易を象徴する都市であり、シルクロードを介して伝わったイランの歴史・文化の多様性を示す格好のデスティネーションであるにもかかわらず、国際的な観光市場において、デスティネーションとしてのブランドを必ずしも確立できておらず、観光プロモーション支援のニーズが高い。 ● Tabriz 2018 の下、観光地域開発に向けた機運が高まっており、積極的な官民連携の下、観光パンフレットの整備などのプロモーション活動が実施されている。 ● また、タブリーズ周辺には、洞窟住居が独特の景観を形成するキャンドヴァーン村や山岳地帯など豊かな自然資源を背景とした遊牧民のテントを利用した伝統的民宿（ブームギャルディー）などがあり、これらのプロモーションにより、地域に裨益する支援が可能。 	
	社会経済開発における地域間格差	所得水準	N/A
		貧困率 (%)	N/A
		失業率 (%)	東アゼルバイジャン州：10.8%
		GRDP (USD)	東アゼルバイジャン州：267,084 Billion Rial
備考		-	
支援効果と妥当性 Effectiveness & Appropriateness	上位計画・関連携各区との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ● Tabriz 2018 (Tabriz, the Capital of Islamic Tourism for 2018) の下、観光資料の整備や、新規観光ルートの開発など、活発な観光開発に関わる活動が実施されている。 	
	他ドナー支援との相乗効果と棲み分け	<ul style="list-style-type: none"> ● UNESCO など、Training にも補助を出している。 ● 日本建築家協会 (AIJ) と日本財団が、現地 NGO 及び ICHTO と共同でシルクロードをテーマとした地域経済開発に関わる交流活動を展開中 (三宅理一氏がプロジェクトの代表)。2018 年 9-10 月にはタブリーズで国際会議を開催、2018 年の 5/5-5/6 には日本で手工芸品などの展示を含む活動に関わる展覧会を開催予定。 ● JICA のウルミア湖のプロジェクトとの相乗効果が見込まれる。 	

観光地域調査シート：ヤズド

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Destination:	Yazd
	Code:	YD
	Sheet No.	1

(1) プログラム開発

小項目	評価設問	調査結果
観光資源	世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> 3 件（歴史的市街地、カナート、ペルシア式庭園 (Pahlevan-pour Garden) 2 件が UNESCO の暫定遺産に登録（メイボッド, Fahraj の金曜モスク）
	National Heritage	1,600 件
	無形遺産	—
	手工芸品	<ul style="list-style-type: none"> 30 種類（カーテン、テルメ、イコット（染めた布）、陶器、磁器、等） 手工芸職人は 4,000 人。
	博物館・資料館（箇所）	州で 20 カ所（町では 4 箇所）
	その他潜在資源	<ul style="list-style-type: none"> 町中に張り巡らされたカナートシステム アケメネス朝、サーサーン朝に国教だったゾロアスター教の聖地や関連遺産 4,000m の山、砂漠 歴史的建造物のホテルが旧市街地に多くあるのも特徴 郊外にある Zeinodin Caravanserai のような宿もある 伝統的民宿（ブームギャルディー）での地域文化体験できる
観光インフラ	ホテル	
	数（格付別）	<ul style="list-style-type: none"> 200 軒の宿泊施設がある。5 つ星のホテルはない。1 つの 5 つ星を建設中。全て 4 つ星以下。
	ベッド数	ベッド数は 4,000 床。
	従業員数	4,000 人。（正確かどうかは不明）
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> 年間の平均稼働率は 55% である。ハイシーズンは 6 か月であり、100% である。非伝統的なホテルは 70%。ローシーズンは 40% である。平均宿泊者数は 1 泊。 36 軒のホテルを建てる計画がある。建設が終わった場合、ベッド数は 10,000 床となる。 ホテル建設の場合、5 年間の免税措置がある。
	レストラン	
	数（軒）	<ul style="list-style-type: none"> ICHTO 管轄の伝統的なレストランは市内に 60 軒あり、州全体では 120 軒である。
	座席	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	—
	旅行代理店	
	数（社）	80 軒の旅行代理店がある。
	従業員数（人）	N/A
	備考 （サービス、品質、等）	<ul style="list-style-type: none"> ヤズドでは 10 年前から旅行代理店業が始まった。3 年前は 100% シーラーズやテヘランからの旅行代理店がほとんどであった。 2 年前から直接観光客の受け入れを始めた。10%-15% はヤズドの旅行代理店がツアーを直接取り扱うようになった。
	インフォメーションセンター	

	数（箇所）	<ul style="list-style-type: none"> 市には合計 10 か所ある。ICHTO の管轄の下、全て民間業者が運営している。週全体では 26 か所となる。 観光名所にあった QR コードは民間の IT 企業によるもの。ICHTO と民間企業によるもの。6 か国語で読める。予算は ICHTO からである。
	備考	—
	ガイド	
	数	250 人（内、活動的なのは 20%程度）
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 英語、フランス語を話せるガイドがほとんど。少数ながら、中国語を話すガイドがいる。
観光商品	資源を活用したツアー・プログラム（既・未商品）	<ul style="list-style-type: none"> 旧市街の観光ツアー 伝統的民宿（ブームギャルディー）体験（地域の伝統的な食事や生活様式を体験できる宿泊施設） カナートツアー
	デスティネーションイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ヤズドはシルクロード上の交易都市として発展。 市内には、イルハーン朝、サファヴィー朝、ガジャール朝の歴史的建造物など、シルクロードを介した多様な時代と文化の交流を示す観光資源が多数点在し、ヤズド歴史地区は、2017 年に UNESCO 世界遺産に登録されている。 特に、ヤズド周辺地域には、パードギール、カナートなど半乾燥地域の気候に適応した独特の水利施設や、土でできた町並みが残っており、他の地域と差別化したデスティネーションイメージの形成が可能である。
観光人材育成	関係省庁等による観光人材育成研修の実施の有無	<ul style="list-style-type: none"> ICHTO により手工芸職人雇用促進のための WS を開催 科学技術大学で磁器や陶器、金属細工、古代装飾品、絨毯 1,000 の学生（観光、ホテル、プロトコル（2 年）の 3 学科） 4 つの観光専門学校により、ツアーガイド、サービス、通訳などの職業訓練が行われ、ICHTO の修了証明書を発行する。毎年 1,000 人卒業 ヘンケル財団の博物館支援プロジェクトでは、地域住民に対するトレーニングも含まれる。

(2) マーケティング

小項目	調査結果	
アクセス	人口（2016 年）	
	ヤズド州 1,138,533 人（内、ヤズド市：60 万人）	
	観光地域までの公共交通手段	
	航空機	
	国際線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	国内線空港	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便（運行便数、等）	<ul style="list-style-type: none"> イラク、サウジアラビアとの定期便がある。 産業の観点からもドバイやカタールの定期便の就航を望んでいる。
	主な都市からの所要時間	<ul style="list-style-type: none"> テヘランから所要 1 時間 10 分。
	備考（サービス、品質、等）	—
	鉄道	
	乗り入れ	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	定期便（運行便数、等）	エスファハーン間の定期便あり。
	主な都市からの所要時間	エスファハーンから所要約 4 時間 テヘランから所要 6 時間～8 時間

	備考 (サービス、品質、等)	—
	道路 (路線バス等)	
	高速道路	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
	主な都市からの 所要時間	<ul style="list-style-type: none"> ● テヘランから所要 10 時間 ● シーラーズから所要 7 時間 ● エスファハーンから所要 7 時間
	備考 (道路状況、等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 幹線道路、地方道路共に良好。
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ● 外務省の安全情報では、ヤズド州はレベル 1「十分注意してください」と定義されている。 	
需要	当該観光地	
	入り込み数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> ● 6 年前の海外からの旅行客数は 12,000 人 (宿泊者数)。2016 年の海外からの旅行客数は 130,000 人 (宿泊者数)。2016 年の外国人観光客の総計は、140,000 人である。 ● ローシーズンは 6 月～8 月であり、ハイシーズンは春と秋である。 ● 国内観光客数は、ノールーズ (新年) の時期は 1,111,000 人であり、350,000 人が残りの期間の観光客となる。 ● ヤズドはイランの中央に位置するため、国内の各地域からヤズドに 1 泊してからマシュハド等に行っている。
	セグメント・ トレンド	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人観光客の内訳はフランス、イタリア、ドイツ、スペイン、インドネシア、中国である。 ● インドネシア、中国はビジネスで来ているが、同時に観光客としても来ている。 ● 観光客の 65%がグループツアーで 35%が個人旅行。
	周辺観光地	
	入り込み数 (人)	<ul style="list-style-type: none"> ● メイボッドには、2017 年上半期では、イラン人 30,000 人、外国人観光客 12,000 人
	セグメント・ トレンド	<ul style="list-style-type: none"> ● メイボッドには、ドイツ、ポルトガル、イタリア、中国が多く、最近ではトルコ人も増加傾向にある。80%以上が団体客である。
プロモーション	パンフレット、Web サイト、等	<ul style="list-style-type: none"> ● パンフレット、ウェブサイト、SNS で広告している。 ● 歴史的遺産の保全を強調して広報している。 ● 古代のヤズドの都市の特徴をまとめて、文書化する計画がある。 ● 科学的な観点からも多くの都市から研究者や旅行者が訪れ、自分の都市の参考としている。 ● メイボッドでは、50 年前から観光マップを ICHTO が作成しており、イラン観光のパイオニアと言える。
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ● メイボッドでは、Web サイトを通じたプロモーションを実施 (www.yazdcity.ir)

(3) ステークホルダーの関与

小項目	調査結果	
主導 Public initiative	ICHTO 地方支局の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
		責任者
	連絡先	
	職員数 (人)	200 人
	予算	N/A
備考	4 部局 : (8) Tourism 部 (9) Cultural Heritage 部	

		(10) Investment & Planning 部 (11) Handicraft 部 ● 別途、文化遺産管理の組織として、ICHTO の文化財研究所 (Cultural Heritage Base) を有する。
官民協働 Private partnership	地域の民間組織（業者組合、NPO、NGO、等）の有無、連携概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間の投資、ICHTO と半分ずつ資金提供 ● 30 の NGO を含む協会がある。 ● ICHTO と NGO や地域コミュニティを交えた観光開発に関わる定例会議を月 2 回開催。 ● 各地域でも住民との会合などがある。 ● ICHTO と民間セクターとの定例会議も月 2 回定期的に行っている。 ● メイボッドでは、歴史的建造物に指定された郵便局を博物館に改修する事業に対し、工事費の 50% を ICHTO の予算から拠出し、50% を地元名士による NGO 財団からの寄付で実施。 ● メイボッドでは、民間による歴史的建造物の改修事業に対し、ICHTO から 10,000 ドルを上限に工事費を補助。 ● サルヤズドでは、ICHTO の監理の下、地元企業の寄付金により、キャラバンサライの改修やアーチェリーの国際大会の誘致を実現。
参加 Local Involvement	観光開発への住民参加レベル（高・低）	● UNESCO は住民との連携を重視しているため、ICHTO も力を入れている。

(4) インパクト

経済的インパクト	正： 雇用創出や民間投資、産業創出等につながっている	● ホテル、レストラン、旅行代理店などの旅行業が、多くの雇用を創出し、地域振興につながっている。
	負： 地価高騰、人件費高騰、格差拡大等を生み出している	—
社会的インパクト	正： 遺産保全、伝統産業再興、誇り醸成等につながっている	● 2017 年の UNESCO 世界遺産登録以降、遺産保全の動きが加速している。
	負： 遺産価値喪失、文化の見世物化等を生み出している	—

(5) フィジビリティ

小項目	調査結果	
支援の必要性 Technical support	観光開発の発展段階	<ul style="list-style-type: none"> ● ヤズドは、2017 年の UNESCO の世界遺産登録以降、ICHTO によるカナート施設を観光資源とした観光施設整備など、観光開発に向けた様々な取り組みが始まりつつある。 ● ヤズドは、イランで最も多くの観光客を集めるシーラーズからエスファハーンのゴールデンルート上に位置するものの、平均的な宿泊数は 1 泊に留まり、滞在型の観光地としては、未だ十分に位置付けられていない。 ● 他方、ヤズド周辺には、メイボッドなど UNESCO の暫定遺産リストに登録されているものの、観光開発が十分に進んでいない観光開発における高いポテンシャルを有する市や村が多数存在しており、これら市や村の観光開発によりシーラーズやエスファハーンから観光客を誘導することにより、短期的に効果が発現する高いポテンシャルを有しており、支援のニーズが高い。 ● ヤズド周辺地域には、バードギール、カナートなど半乾燥地域の気候に適応した独特の水利施設や、土でできた町並みが

		<p>残っており、他の地域と差別化した観光開発が可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● また、ヤズド周辺には、砂漠や山岳地帯など豊かな自然資源を背景とした伝統的民宿（ブームギャルディー）などがあり、これらのプロモーションにより、地域に裨益する支援が可能。 	
	社会経済開発における地域間格差	所得水準	N/A
		貧困率 (%)	N/A
		失業率 (%)	12.8%
		GRDP (USD)	152,730 Billion Rial
		備考	—
支援効果と妥当性 Effectiveness & Appropriateness	上位計画・間連携各区との整合性	<ul style="list-style-type: none"> ● Yazd 市には、開発マスタープラン（2017-2022）が存在（内容未確認）。 	
	他ドナー支援との相乗効果と棲み分け	<ul style="list-style-type: none"> ● 他ドナーによる具体的な支援事業は特に実施されていない。 ● ドイツのヘンケルグループがドイツの民間セクターからの資金提供を受け、ボンの国立絵画展示館（Kunsthalle）ベルリンの博物館による、Yazd の博物館の開館支援プロジェクトを実施中。技術支援として歴史展示に関わる学芸員の人材派遣を行っている。博物館は、2020 年開館予定。文化遺産観光の拠点施設として、将来的な JICA プロジェクトとの連携が期待される。 ● フランスのグルノーブル大学 CRATERRE から UNESCO 世界遺産管理のモニタリングを行う ICOMS の専門家が定期的に派遣されている。 ● ハンガリー大学とヤズド大学がメディカルツーリズムに関わる連携協定に調印。 ● その他、複数の研究機関、大学から学術的な研究・調査の依頼が接している。 	

Appendix 4 観光資源調査シート

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Code: TBZ-01
	Date: 10 / 11 / 2017
	Surveyor: Akira OHARA

1. Site Classification

Site Name	Kandovan		
Province	East Azerbaijan	County	Osku
GPS Coordination	38 S, 610013.00 m E, 4183757.00 m N		

2. General Description

Age of Foundation	A.D. 14 C	Dynasty	Ilkhanid
-------------------	-----------	---------	----------

Kandovan is a village in the Osku County of the East Azerbaijan Province. This village exemplifies manmade cliff dwellings which are still inhabited. The troglodyte homes, excavated inside volcanic rocks and tuffs similar to dwellings in the Turkish region of Cappadocia. In 2017, the village population is 750, in 182 families. The construction of contemporary houses in the village has become a threat to historical landscape. As a countermeasure, ICHTO conducts monthly training of CRM (Customer Relation Management) targeting residents of the village of Kandovan.



3. Status

Owner	Village of Kandovan		
	<input type="checkbox"/> State Ministry	<input checked="" type="checkbox"/> Local Government	<input type="checkbox"/> Private/Foundation
	<input type="checkbox"/> Private/Individual	<input type="checkbox"/> Local NGO	<input type="checkbox"/> Abandoned
Registration	<input type="checkbox"/> Others ()		
	<input type="checkbox"/> UNESCO World Heritage	<input checked="" type="checkbox"/> UNESCO World Heritage Tentative	<input checked="" type="checkbox"/> National Monument
	<input type="checkbox"/> Others ()		
Conservation Status	<input type="checkbox"/> Restored in	by	<input type="checkbox"/> Good
	<input checked="" type="checkbox"/> Fair	<input type="checkbox"/> To be Rehabilitated	<input type="checkbox"/> Ruin
Focal Group for Site Development	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	Status Local NGO
	Name	N/A	
	Contact	N/A	

4. Access

Access	1.0 hours from the city : Tabriz		
Public Transport	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	Mode of Transport Bus, TAXI
Road Condition	<input type="checkbox"/> Good	<input checked="" type="checkbox"/> Fair	<input type="checkbox"/> To be Improved
Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	1 hotel, 3 Bumgardis in Kandovan

5. Facilities & Materials

Facility	<input checked="" type="checkbox"/> Car Parking	<input type="checkbox"/> Tourist Information	<input type="checkbox"/> Ticketing Office
	<input checked="" type="checkbox"/> Public Toilets	<input type="checkbox"/> Museum	<input type="checkbox"/> Others ()
Informative Material	<input checked="" type="checkbox"/> Brochure	<input type="checkbox"/> Map	<input type="checkbox"/> Explanatory Board
	<input type="checkbox"/> AV Guidance	<input type="checkbox"/> Others ()	
Information Language	<input checked="" type="checkbox"/> Persian	<input checked="" type="checkbox"/> English	<input type="checkbox"/> French
	<input type="checkbox"/> German	<input type="checkbox"/> Others ()	

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Code: TBZ-02
	Date: 07 / 12 / 2017
	Surveyor: Akira OHARA

1. Site Classification

Site Name	Maragheh		
Province	East Azerbaijan	County	Maragheh
GPS Coordination	38 S, 607031.44 m E, 4139458.08 m N		

2. General Description

Age of Foundation	A.D. 13 C	Dynasty	Ilkhanid
-------------------	-----------	---------	----------

Maragheh is the first capital of the Ilkhanid Dynasty located 170km from Tabriz. As the main tourist attraction of cultural heritage, there are ten sites, mainly Islamic cultural heritage, such as ancient observatory of the 13th century in the Ilkhanid era, seven domes of good preservation during the Serjuok Dynasty, and an underground Mithraism temple. In addition, there is the Ilkhan museums operated by the ICHTO in the city, and various objects of the Mongol empire are exhibited, which we can see the evidence of historical relationship between Iran and Japan.



3. Status

Owner	<input checked="" type="checkbox"/> State Ministry	<input checked="" type="checkbox"/> Local Government	<input type="checkbox"/> Private/Foundation
	<input type="checkbox"/> Private/Individual	<input type="checkbox"/> Local NGO	<input type="checkbox"/> Abandoned
	<input type="checkbox"/> Others ()		
Registration	<input type="checkbox"/> UNESCO World Heritage	<input type="checkbox"/> UNESCO World Heritage Tentative	<input checked="" type="checkbox"/> National Monument
	<input type="checkbox"/> Others ()		
Conservation Status	<input type="checkbox"/> Restored in	by	<input type="checkbox"/> Good
	<input checked="" type="checkbox"/> Fair	<input type="checkbox"/> To be Rehabilitated	<input type="checkbox"/> Ruin
Focal Group for Site Development	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	Status 3-4 Local NGOs
	Name	N/A	
	Contact	N/A	

4. Access

Access	2.0	hours from the city :	Tabriz
Public Transport	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	Mode of Transport Railway, Bus, TAXI
Road Condition	<input checked="" type="checkbox"/> Good	<input type="checkbox"/> Fair	<input type="checkbox"/> To be Improved
Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	2 hotel, 8 Guesthouses in Maragheh

5. Facilities & Materials

Facility	<input checked="" type="checkbox"/> Car Parking	<input type="checkbox"/> Tourist Information	<input type="checkbox"/> Ticketing Office
	<input checked="" type="checkbox"/> Public Toilets	<input checked="" type="checkbox"/> Museum	<input type="checkbox"/> Others ()
Informative Material	<input checked="" type="checkbox"/> Brochure	<input checked="" type="checkbox"/> Map	<input checked="" type="checkbox"/> Explanatory Board
	<input type="checkbox"/> AV Guidance	<input type="checkbox"/> Others ()	
Information Language	<input checked="" type="checkbox"/> Persian	<input checked="" type="checkbox"/> English	<input type="checkbox"/> French
	<input type="checkbox"/> German	<input type="checkbox"/> Others ()	

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Code: TBZ-03
	Date: 12 / 11 / 2017
	Surveyor: Akira OHARA

1. Site Classification

Site Name	St. Thaddeus Monastery		
Province	West Azerbaijan	County	Maku
GPS Coordination	38 S, 460572.00 m E, 4327132.00 m N		

2. General Description

Age of Foundation	A.D. 1 C	Dynasty	Pre-Islamic
-------------------	----------	---------	-------------

According to the tradition of the Armenian Apostolic Church, Saint Thaddeus evangelized the region of Armenia and Persia. Thaddeus suffered martyrdom in Armenia, according to the same tradition, and is revered as an apostle of the Armenian Church. The church dedicated to him was first built on the present site in A.D. 68. In July 2008, the Monastery was registered into the UNESCO World Heritage List, including two other Armenian monuments, such as the Saint Stephanos Monastery and the Chapel of Dzordzor.



3. Status

Owner	Armenian Apostolic Church		
	<input type="checkbox"/> State Ministry	<input type="checkbox"/> Local Government	<input checked="" type="checkbox"/> Private/Foundation
	<input type="checkbox"/> Private/Individual	<input type="checkbox"/> Local NGO	<input type="checkbox"/> Abandoned
	<input type="checkbox"/> Others ()		
Registration	<input checked="" type="checkbox"/> UNESCO World Heritage	<input type="checkbox"/> UNESCO World Heritage Tentative	<input checked="" type="checkbox"/> National Monument
	<input type="checkbox"/> Others ()		
Conservation Status	<input checked="" type="checkbox"/> Restored in	by ICHTO	<input type="checkbox"/> Good
	<input type="checkbox"/> Fair	<input checked="" type="checkbox"/> To be Rehabilitated	<input type="checkbox"/> Ruin
Focal Group for Site Development	<input type="checkbox"/> Yes	<input checked="" type="checkbox"/> No	Status
	Name	N/A	
	Contact	N/A	

4. Access

Access	2.0 hours from the city : Tabriz		
Public Transport	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	Mode of Transport: TAXI
Road Condition	<input type="checkbox"/> Good	<input checked="" type="checkbox"/> Fair	<input type="checkbox"/> To be Improved
Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input checked="" type="checkbox"/> No	

5. Facilities & Materials

Facility	<input checked="" type="checkbox"/> Car Parking	<input type="checkbox"/> Tourist Information	<input checked="" type="checkbox"/> Ticketing Office
	<input checked="" type="checkbox"/> Public Toilets	<input type="checkbox"/> Museum	<input type="checkbox"/> Others ()
Informative Material	<input checked="" type="checkbox"/> Brochure	<input type="checkbox"/> Map	<input checked="" type="checkbox"/> Explanatory Board
	<input type="checkbox"/> AV Guidance	<input type="checkbox"/> Others ()	
Information Language	<input checked="" type="checkbox"/> Persian	<input checked="" type="checkbox"/> English	<input type="checkbox"/> French
	<input type="checkbox"/> German	<input type="checkbox"/> Others ()	

Data Collection Survey on Tourism and Cultural Heritage in the Islamic Republic of IRAN Japan International Cooperation Agency (JICA)	Code: TBZ-05
	Date: 11 / 11 / 2017
	Surveyor: Akira OHARA

1. Site Classification

Site Name	Urmia		
Province	West Azerbaijan	County	Urmia
GPS Coordination	38 S, 505998.00 m E, 4155251.00 m N		

2. General Description

Age of Foundation	A.D. 1 C (St. Mary Church)	Dynasty	Pre-Islamic
-------------------	----------------------------	---------	-------------

Urmia is the capital of the West Azerbaijan province. Urmia is located west bank of the Lake Urmia, one of the world's largest salt lakes. The city is the trading center for agricultural products (especially apples, grapes and tobacco). The Christian history in Iran, Urmia is an important town by the 9th century, for centuries the city has had a diverse population including Muslims, Christians (Catholics, Protestants, Nestorians, and Orthodox), Jews, etc. Around 1900, Christians made up more than 40% of the population, however, most of the Christians fled in 1918 as a result of the Genocides.



3. Status

Owner	<input type="checkbox"/> State Ministry <input checked="" type="checkbox"/> Local Government <input checked="" type="checkbox"/> Private/Foundation <input type="checkbox"/> Private/Individual <input type="checkbox"/> Local NGO <input type="checkbox"/> Abandoned <input type="checkbox"/> Others ()		
	<input type="checkbox"/> UNESCO World Heritage <input type="checkbox"/> UNESCO World Heritage Tentative <input checked="" type="checkbox"/> National Monument <input type="checkbox"/> Others ()		
	<input type="checkbox"/> Restored in by <input type="checkbox"/> Good <input checked="" type="checkbox"/> Fair <input type="checkbox"/> To be Rehabilitated <input type="checkbox"/> Ruin		
Focal Group for Site Development	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No Status N/A		
	Name	N/A	
	Contact	N/A	

4. Access

Access	1.5 hours from the city : Tabriz		
Public Transport	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	Mode of Transport	Bus, TAXI
Road Condition	<input checked="" type="checkbox"/> Good <input type="checkbox"/> Fair <input type="checkbox"/> To be Improved		
Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No		

5. Facilities & Materials

Facility	<input type="checkbox"/> Car Parking <input type="checkbox"/> Tourist Information <input type="checkbox"/> Ticketing Office <input type="checkbox"/> Public Toilets <input type="checkbox"/> Museum <input type="checkbox"/> Others ()		
	<input checked="" type="checkbox"/> Brochure <input type="checkbox"/> Map <input type="checkbox"/> Explanatory Board <input type="checkbox"/> AV Guidance <input type="checkbox"/> Others ()		
Information Language	<input checked="" type="checkbox"/> Persian <input checked="" type="checkbox"/> English <input type="checkbox"/> French <input type="checkbox"/> German <input type="checkbox"/> Others ()		

